

いよいよ踏み出す「ハタチの一步」 官民挙げてのプロジェクトに大きな期待

海外渡航経験のない20歳の若者を無料で海外体験に招待し、その体験をSNSなどで発信してもらい、若年層のアウトバウンドを活性化させようという官民挙げてのプロジェクト「ハタチの一步」がいよいよ本格的に始動しました。11月のスタートに向けた動きとプロジェクトに参加する若者の声などを紹介します。

11月～12月に10カ国・地域へ
200人

(ANTA)、全日空、日本航空などの観光関係団体・事業者で構成される「若者のアウトバウンド推進実行会議」の主催による「ハタチの一步」20歳 初めての海外体験プロジェクト」が今年11月

観光庁、文部科学省、外務省、経済産業省の中央省庁をはじめ、日本修学旅行協会や日本経団連連合会などの各種関係団体とJATA、全国旅行業協会



中国で実施される「ハタチの一步」プロジェクトの説明に耳を傾ける参加者の皆さん

■「ハタチの一步」プロジェクト 対象国・地域と内容・期間

対象国・地域	内容	期間
韓国	ソウル+扶余5日間	2019年11月4日～8日
韓国	釜山+慶州+ソウル5日間	2019年11月4日～8日
マカオ	マカオ5日間	2019年11月4日～8日
中国	杭州+上海5日間	2019年11月8日～12日
マレーシア	コタキナバル4日間	2019年11月11日～14日
マレーシア	ベナン7日間	2019年11月14日～20日
グアム	グアム5日間	2019年11月20日～24日
ベトナム	ベトナム5日間	2019年11月25日～28日
タイ	バンコク5日間	2019年11月25日～29日
フィリピン	セブ5日間	2019年12月3日～7日
香港	香港5日間	2019年12月4日～8日
台湾	高雄+台北5日間	2019年12月12日～16日

から12月にかけて、アジアの9カ国・地域とグアムで実施されます。「ハタチの一步」プロジェクトの対象となるのは、中国、韓国、台湾、香港、マカオ、フィリピン、タイ、マレーシア、ベトナム、グアムの10カ国・地域で、各国・地域の歴史や文化などを体験する合計12コースには、海外渡航経験のない若者200人が参加して「ハタチの一步」を踏み出します。

SNSによる体験発信で波及効果を

観光庁は2018年7月に「若者のアウトバウンド活性化に関する最終とりまとめ」を発表し、若年層による海外旅行の促進を図るとともに、若者の「海外体験」応援プログラムの策定とそうした取り組みを広く国民に周知する広報戦略を推進してきています。

観光庁の奈良和美参事官(旅行振興担当)は、「『観光先進国』の実現に向けて、双方向の人的交流を拡大させることが重要であり、そのためには、インバウンドだけでなくアウトバウンドの振興も必要となる」と日本人による海外旅行の意義を指摘。その上で、「ハタチの一步」プロジェクトについて、「日本人の国際感覚の向上や国際相互理解の増進、インバウンド拡大への貢献といった観点からも、若年層による海外旅行の促進を図る取り組みは大切」と語り、その意味合いを強調しています。

海外旅行経験者へのアンケート



杭州観光の定番・西湖は、体験プロジェクトでも目玉の一つ



若年層にも人気の高い韓服体験
(写真はイメージです)

ト調査では、「治安が心配である」「言葉に不安がある」「費用がかりすぎる」といった項目が海外旅行の阻害要因として高い割合を示しており、特に、若年層で「治安」「言葉」「費用」を理由に海外旅行を躊躇する傾向が強いことから、「ハタチの二歩」プロジェクトで初めて海外旅行を経験する若者たちが、SNSなどによる自らの体験を発信することによる波及効果も期待されるところです。

貴重な経験が友好関係の発展に

11月4日から8日まで「ソウル＋扶余5日間」と「釜山＋慶州＋ソウル5日間」の2コースにより韓国で実施される「ハタチの二歩」プロジェクトの説明会は、東京・四谷の 코리아センターで開催。韓国観光公社の鄭辰洙東京支社長は、「長い歴史の中で韓国と日本は活発な交流を行いながら友情を育んできた。現在も、KPOPや韓流映画・ドラマ、SNSなどを通じてお互いの文化に触れる機会も多くなっている」と語り、「今回のプロジェクトを通じて、皆さんが韓国への理解を深める良いきっかけとなり、貴重な経験が将来の韓国と日本の友好関係をさらに発展させる大きな力となることを心から願っている」と参加者らに



韓国観光公社の鄭辰洙東京支社長



中国駐東京観光代表処の王偉首席代表

呼びかけました。自身も学生時代に日本への留学経験を持つ鄭支社長は、「来日前に想像していた日本と自らが体験した日本は大きく異なり、自分自身で見たり聞いたり感じたりすることがいかに大切かということを知った」と振り返り、「20歳という若い時に、そうした経験をできる意味合いを十分に理解してほしい」とも語っています。

プロジェクト参加者は新時代の『使者』

韓国での「ハタチの二歩」プロジェクト参加者のリーダーとなった明治大学総合数理学部3年の白間想人さんは、「日本国内だけにとどまることなく、国外に出て新しい価値観に触れて、これまでとは異なった視点で日本を見るようになったらと考えた」と応募動機を説明。また、サ

ブリーダーを務める慶應義塾大学商学部3年の加藤菜穂さんは、「韓国の民族衣

装を着てみるのが楽しみ。経済を学んでいるので、日韓関係も勉強していつて、現地の人と直接話をして現状を実感できたら」と話しています。

また、11月8日から12日まで「杭州・上海5日間」により中国で実施される「ハタチの二歩」プロジェクトの説明会では、中国駐東京観光代表処の王偉首席代表が「日本と中国はいにしえの時代から、遣隋使・遣唐使に象徴される相互交流の歴史を重ねてきた」と挨拶。「今回のプロジェクトで中国を訪れる皆さんが新たな時代の『使者』となり、日中間の相互交流がますます盛んになることを願っている」と期待を表明しました。

中国での「ハタチの二歩」プロジェクトでリーダーを務める亜細亜大学法学部の福田剛留さんは、「今の中国から学べるところを吸収し、交流プログラムを通じて中国から見た日本と日本から見た中国のギャップも確認して今後の研究テーマにしたい」と意欲を示しています。